

# シラバス情報照会 照会画面

条件指定画面 結果一覧画面 照会画面

## シラバス情報/Syllabus Information

※履修登録方法「その他」の登録方法は開講部署のkwicキャビネットでご案内します。/"Other" registration instructions will be provided in the school/centres kwic cabinet.

## 授業情報/Class Information

授業コード/Class code	42041100	開講キャンパス/Campus	西宮上ヶ原キャンパス/Nishinomiya Uegahara Campus		
授業開講年度/Academic Year	2026年度	オンライン授業60単位制限対象科目/The 60-credit limit for online courses			
管理部 署/Administrative Department	共通教育センター/Center for Common Educational Programs				
【科目ナンバー/Course Number】 授業名称/Class Title	【100】災害復興学B【人の復興・まちの復興】/Disaster Recovery Studies B				
単位数/Credit	2	履修期/Term	秋学期/Fall	曜時/Day and Period	金曜2時限/Friday 2
担当者/Instructor	<a href="#">羅 貞一 (NA JONGIL)</a> , <a href="#">青田 良介 (AOTA RYOSUKE)</a> , <a href="#">石田 祐 (ISHIDA YU)</a> , <a href="#">栗田 匡相 (KURITA KYOSUKE)</a> , <a href="#">阪本 真由美 (SAKAMOTO MAYUMI)</a> , <a href="#">関 嘉寛 (SEKI YOSHIHIRO)</a> , <a href="#">田中 正人 (TANAKA MASATO)</a> , <a href="#">宮本 匠 (MIYAMOTO TAKUMI)</a>				
履修基準年度 Standard Year for Registration	1年				
履修登録方法/Types of course registration	申込制				

## — 授業目的等/Course Purpose etc.

主な教授言語/Language of Instruction	日本語/Japanese
授業科目実施区分/Course Implementation Category	対面授業科目/Face to face format
授業目的/Course Purpose	本講義は前期の「災害復興学A（被災者支援）」における被災者支援に関して実践的な取り組みを学ぶ講義を踏まえ、被災者一人ひとりに着目した人間復興とまちの復興に関する理論を学ぶ。東日本大震災による福島第一原発事故で避難を続ける被災者は全国各地にいる。また、能登半島地震や豪雨災害によって仮設住宅に暮らす人たちもいる。本講義では震災によって被災者となった人たちの復興とは何か、またまちの復興とは何かを考える。これらは災害前の日本社会の抱える格差の問題や過疎化、高齢化といった問題と深く関連する。そのような観点から「復興」を考える。
授業目的(英文)/Course Purpose	<b>Building on the practical approaches learned in "Disaster Recovery Studies A" (Support for Disaster Victims), this course focuses on theories of "Human Recovery" and community reconstruction. Considering the ongoing reality of evacuees from the Fukushima nuclear accident and those living in temporary housing after the Noto Peninsula Earthquake and recent floods, students will examine the meaning of recovery for both individuals and communities. The course analyzes recovery in relation to deep-rooted social issues such as inequality, depopulation, and aging.</b>

到達目標/Learning Goals	下記項目について習得することを到達目標とする。 a) 「人間の復興」を達成するためには様々な支援が必要であることを理解する。 b) 復興には個人の復興と同時にまちの復興が必要であることを理解する。 c) 現在の日本社会の抱える問題と深く関わっていることを理解する。
到達目標(英文)/Learning Goals	Students will acquire an understanding of: a) The diverse support necessary to achieve "Human Recovery." b) The necessity of pursuing both individual recovery and community reconstruction simultaneously. c) The deep connection between disaster recovery and current social issues in Japan.
授業方法 Course Format	本授業では、講義形式で授業を進めていく。 阪神・淡路大震災、新潟県中越地震、東日本大震災、能登半島地震など、様々な復興に携わってきた実務家や研究者を講師としてお招きし、オムニバス形式で講義を行う。毎回、講師からの課題について、最後の15分間で平常レポートを作成する。
検索キーワード/Keywords	災害復興 阪神淡路大震災 能登半島地震 東日本大震災 熊本地震 人間の復興 まちの復興

— 授業計画等/Topic etc.

	授業計画 Topic	授業外学修 Study Required Outside Class
第1回 Session 1	【スタートアップウィーク】リンク：LUNAから、見れます。(9月25日) オンライン授業（オンデマンド型）／《90分》 【講義】ガイダンス 【講師】災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	授業中に適宜指示する。
第2回 Session 2	【コアウィークス①】対面授業／《90分》 【講義】復興とは 【講師】災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 山中茂樹）	
第3回 Session 3	【コアウィークス②】対面授業／《90分》 【講義】ボランティアによる復興支援 【講師】社会学部教授 関嘉寛	
第4回 Session 4	【コアウィークス③】対面授業／《90分》 【講義】ジェンダー・多様性と復興 【講師】災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
第5回 Session 5	【コアウィークス④】対面授業／《90分》 【講義】災害復興と地域コミュニティ 【講師】災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 岡田憲夫）	
第6回 Session 6	【コアウィークス⑤】対面授業／《90分》 【講義】経済的視点からの復興 【講師】経済学部教授 栗田匡相	
第7回 Session 7	【コアウィークス⑥】対面授業／《90分》 【講義】災害復興と国際協力 【講師】兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 阪本真由美	
第8回 Session 8	【コアウィークス⑦】対面授業／《90分》 【講義】被災者の心理 【講師】大阪大学大学院人間科学研究科准教授 宮本匠	
第9回 Session 9	【コアウィークス⑧】対面授業／《90分》 【講義】日本の復興まちづくり 【講師】災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一（ゲストスピーカー 災害復興制度研究所顧問 岡田憲夫）	
第10回 Session 10	【コアウィークス⑨】対面授業／《90分》 【講義】災害復興と住宅政策	

	【講師】 追手門学院大学地域創造学部教授 田中正人	
第11回 Session 11	【コアウィークス⑩】 対面授業 / 《90分》 【講義】 自治体による人とまちの復興 【講師】 兵庫県立大学大学院減災復興政策研究科教授 青田良介	
第12回 Session 12	【コアウィークス⑪】 対面授業 / 《90分》 【講義】 復興とNPO事業計画 【講師】 人間福祉学部教授 石田 祐	
第13回 Session 13	【コアウィークス⑫】 対面授業 / 《90分》 【講義】 海外の復興まちづくり 【講師】 災害復興制度研究所員主任研究員・准教授 羅貞一	
第14回 Session 14	【フレックスアワーズ】 リンク：LUNAから、見れます。(1月8日) オンライン授業 (オンデマンド型) / 《90分》 【講義】 住民参加型の事前復興・まちづくり 【講師】 災害復興制度研究所員主任研究員・准教授 羅貞一	
第15回 Session 15	【フレックスアワーズ】 リンク：LUNAから、見れます。(1月15日) オンライン授業 (オンデマンド型) / 《90分》 【講義】 「人の復興・まちの復興」のまとめ 【講師】 災害復興制度研究所主任研究員・准教授 羅貞一	
授業外学修 Study Required outside Class	当該授業における授業資料、関連書籍などでの予習と復習を行う。 【復習課題】 前回の授業に配布した資料を読む 【予習課題】 次回の授業資料を読む	

— 教科書、参考書等/Required texts,Reference books etc.

教科書 Required texts	各授業ごとに資料を配布
-----------------------	-------------

参考書/Reference books	著者名 Author	タイトル Title	発行所 Publisher	出版年 Year of Publication	ISBN	ボタン Button
	山中茂樹	人間の復興	関西学院大学出版会	2023年	9784862833655	OPAC検索

図書館に所蔵が無い場合等、OPAC検索ボタンを押下してもヒットしないことがあります。

学位授与の方針との 関連 Relationship to Diploma Policy	各学部・研究科の学位授与方針は、こちらを参照してください。(kwic→学生キャビネット→教務機構→学位授与方針 (DP)、教育課程の編成・実施方針 (CP)、教育課程表、カリキュラム・マップ) <a href="https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabinetId=557&amp;directLink=1&amp;directLink=1">https://kwic.kwansei.ac.jp/cabinet/reference?typeCd=0&amp;cabinetId=557&amp;directLink=1&amp;directLink=1</a> ※kwicへのリンクとなります (在学生のみ閲覧可)
--	--

成績評価 Grading	種別 Type備考 Note	割合 Percentage	評価基準等 Grading Criteria etc.
	平常レポート/Individual reports (04)	100%	クラス終了後の平常レポート (60%)、最終課題レポート (40%)
	備考 Note 「クラス終了後の平常レポート (60%)」は毎回、授業後に講師からの課題をコメントカードに記入してその場で提出になります。 「最終課題レポート (40%)」は、LUNA上への提出を原則としますので、IDとパスワードが使えるよう常に管理をしてください。レポートの課題、成績評価基準、提出時の注意事項などは、LUNAで確認できます。また、【フレックスアワーズ】の講義でも改めて説明します。		

更新日時/Date of Update	2026年01月23日 21時35分03秒
---------------------	-----------------------

## 教室情報/Classroom Information

項番 No.	履修年度 Year	開講期 Term Offered	曜時 Day and Period	使用開講期 Term for Classroom Use	教室情報 Classroom
1	2026年度	秋学期／Fall	金曜 2 時限／Friday 2	秋学期／Fall	4 別－ 2 0 2

※記載されている授業情報は変更されることがあります。最新の情報は、kwicを確認してください。

\* Class Information are subjected to changes. Make sure to check for the latest information on the kwic.